



3月末の工事状況をお知らせします

平成28年度も残りわずかとなりました。平成29年3月現在の出張所管内の工事状況についてお知らせします。

平成28年度 安倍川水系管内砂防施設改良工事 工期:平成29年1月11日～平成29年7月31日 施工者:(株)白鳥建設
砂防堰堤には土砂を多く含んだ水が流れるため、摩耗が進んでしまう施設もあります。本工事は、特に摩耗が激しい箇所を補修・改良し、施設の機能を回復し、維持する工事です。



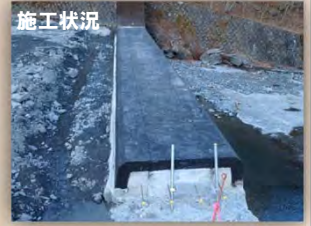
現在、補修箇所の一部取り壊し工事を行っています。



施工前



施工後



施工状況

昨年度工事の施工事例

ここが
ポイント

摩耗が激しい箇所には、タイヤのゴムを細かく砕いて整形した製品を据え付けます。摩耗しにくく、衝撃に強い特徴があり、工期の短縮も図れます。



平成28年度 安倍川水系梅ヶ島出張所管内整備工事 工期:平成28年4月1日～平成29年3月31日 施工者:(株)新村組

本工事は砂防施設の維持補修を目的に行いました。堰堤周辺の安全施設補修、除草、傷んだ工事用道路補修など工種は多岐にわたります。



工事用道路の補修



施設管理のための除草

平成28年度 安倍川水系ウラの沢流路工工事 工期:平成28年10月1日～平成29年5月31日
施工者:(株)アースシフト

本工事はウラの沢砂防堰堤からの流水、土砂を安全に安倍川に流下させるための流路工工事です。昨年度に引き続き、既設の水路に替えて、流れる断面を大きく作り直しています。



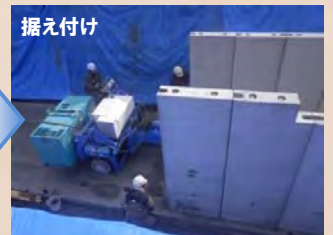
現在、水路を据え付けるための床均し作業を行っています。



つかんで



運搬



据え付け

昨年度の施工状況

ここが
ポイント

施工場所が狭く、製品をクレーンで据え付けることが出来ないため、製品をつかんで運搬、据付することができる機械(リフトローラー)を使用して施工します。



平成28年度 安倍川水系杉の木沢砂防えん堤工事 工期:平成28年9月27日～平成29年5月31日 施工者:(株)白鳥建設

平成25年度から有東木地区で着手した杉の木沢砂防堰堤の継続工事です。本工事では主に堰堤と堰堤前面の保護工を施工しています。



H25年度から施工中の杉の木沢砂防堰堤



コンクリートパネルの型枠設置状況



コンクリート打設状況

ここがポイント

コンクリートのパネルを型枠にして施工します。これにより、コンクリート打設後の型枠外し作業が省かれ、工期の短縮と工費の削減が図れます。また、パネルのデザインも多彩なため現場にあったパネルが選べます。



梅ヶ島新田初午祭の「神楽」

毎年、新暦3月の第2土曜日をホンビ(本日)とする初午祭が、3月11日(土)に梅ヶ島新田地区で執り行われました。新田の神楽は江戸時代初期から受け継がれてきた伝統のある神楽で、静岡市の無形民俗文化財に指定されています。町内の神社では神事後、伝統の神楽の奉納が行われ、現在伝承されている17種の舞の中から3つの演目が披露されました。その後神社下から太鼓のお囃子の中、邪鬼払いのため地域の各戸を回る「チキドン」が出発しました。



弊(へい)の舞



三太刀(さんたち)の舞



弓(ゆみ)の舞



チキドン

神事後に、ひょっとこや獅子に扮した若者たちが町内各戸をまわり、福を呼び込み厄をはらう「チキドン」。太鼓の音が「チキドン」と聞こえます。

由来

新田神楽の由来は嘉永元年とされる稲荷神社創設の言い伝えにあります。この地で悪疫が流行し、村全体がうろたえた。村人はもと鎌倉円覚寺の高僧で当時江戸小石川の寺にいた竜見大和尚なる人物に相談し、その指示を仰いでこの地に「稲荷」を祀りはじめたところ、さしもの疫病も見事に治まった。また、一説によるとわざわざ村にやってきた和尚が流行病の因をなしたクダギツネをすべて稲荷神社にまつりこめた。「神楽」は和尚の指示で稲荷が村を救ってくれたお礼のために毎年その祭典である旧二月の初午に奉納するようになったと言われています。(新田神楽保存会冊子より抜粋)



編集後記

平成28年度も山の声をご覧頂きありがとうございました。至らないところも多々あったかと思いますが、地域の皆様のご協力で毎月発行することができことに感謝申し上げます。来年度も引き続きよろしくお願いたします。

皆様からの情報やご意見を募集します。

Tel:054-269-2003、E-mail:http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiawase.html



春を待つ大谷崩